寒川町みんなの協働事業提案制度モデル事業（平成28年度実施事業）実績報告に対する意見書

協働事業名 【実績報告①】	野良猫を捕獲して、不妊去勢手術をして、元の場所に戻す活動（TNR活動）及び子猫の保護と里親制度の活用（寒川ネコの会）
<p>（提案団体に関する意見）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野良猫が増える事で衛生面に問題が出てくると思いますので、ネコの会の方の活動は地域住民に感謝されていると思います。 ・寒川町で野良猫を減らすために、よく活動されていると思います。子猫の保護、里親制度、地域外の活動も、実績として含めて良いと思います。 ・確実に成果が出ている。今後も粘り強く続けてもらいたい。 ・事業内容や目標は達成されたと考えられます。TNR活動及び子猫の保護と里親制度の活用も、当初設定数より多く成果が上がっていると思います。又、一之宮地域以外においても活動され、他地域での活動の必要性を感じました。 ・犬と違い、猫の登録制度が無い現状からも、活動の必要性に共感しました。一方、継続しないとまた鼠算ならぬ猫算的に増えてしまうという問題である旨の報告がなされながら、今年度の申請で本事業の活動は終了（休止？）する事については、非常に残念に思います。今回の提案制度により、本活動の効果（実績）は示されました。担当課と協議の上、次年度以降についても、是非協働事業を継続していただきたいと思っております。 ・現実問題を取り上げ、行政の出来ないことをフォローされていることは敬意を表する。 ・里親制度の限界をどう見られているか。 	
<p>（町に関する意見）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町も町でなければ出来ない事をやって下さっている様ですので、良いと思います。 ・寒川町で野良猫を減らすことに、町の方針としてもっと積極的にPR活動と、事業推進を図ったほうが良いと思います。 ・野良猫対策は、町全体でも考えるべき課題でもある。他の地域に展開を拡大するような施策を期待する。 ・この事業の目的が町内中に広がることを望んでいます。 ・協働事業を興すきっかけづくりが、提案制度の大きな目的だと考えます。提案制度の実施期間で解決出来ない事業については、継続出来るようにしないと公費を使う意味が無いと思います。内容や規模を変えてでも、本事業の解決に向けた協働の継続を期待しております。 ・野良ねこの根本的な政策を行政として考えなければ、いたちごっこになってしまうのではないかと。 ・飼い主への啓蒙活動を徹底的にやることも必要。 	
<p>（協働事業に関する意見）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町職員なら出来る事、又住民の出来る事をお互いに助け合い、寒川町が良くなっていくのではないのでしょうか。 ・3年で終了することなく、継続的な協働事業として仕組みを作るべきだと思います。 	

- ・意義ある活動で、最終年度も同じ活動を続ける必要があろう。本事業が終了する平成30年度以降の対応を町としてはどうするのか。
- ・それぞれの役割分担又連携が出来ていると思います。
- ・協働事業を興すきっかけづくりが、提案制度の大きな目的だと考えます。提案制度の実施期間で解決出来ない事業については、継続出来るようにしないと公費を使う意味が無いと思います。内容や規模を変えてでも、本事業の解決に向けた協働の継続を期待しております。
- ・今後の事業ビジョンを明確にされたい。
- ・野良ねこと里親制度と一緒に協働事業なのか不明。

協働事業名 【実績報告②】	川とのふれあい公園花壇等の整備および維持管理 (川とのふれあい公園花壇の会)
<p>(提案団体に関する意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当初の計画と少し違う様に思われます。借りている方々ともう少し趣旨を話し合っただけなら、良いのではないのでしょうか。 ・川とのふれあい公園花壇に対し、よく活動されていると思います。会員と共に、各区域の花壇を世話されている方々を含めて話し合っ、川とのふれあい公園花壇全体として、良いものが出来る事を願います。 ・当初のもたつき（手続き面）をクリアし、花壇の整備が進み、多くの草花が身近な存在になってきた。 ・提案時の計画が途中変更になったため、実際の活動が大幅に遅れたスタートになったと思われます。これは河川管理者との話し合いなどがどのようになるかなど、提案者も協働課も事前によく調べておくべきだったと思います。四季を通して公園に美しい花を咲かす、生き物の生育を見守る、公園内で出た苧草や花殻のリサイクルなど、目標はすばらしく今後に期待したい。 ・「花の町」である事をPRしている寒川町にとって、町が管理する花壇のケアは、必要な活動であると共感しております。一方、個人が楽しむ為に借りている花壇について、「町の管理範囲」と「借りた個人の責任範囲」についても、「協働花壇」として、もう一度明確に見直す必要も有るのかと思います。その成功事例を作る事を、今年度の目的に追加する検討を頂き、寒川町のすべての花壇が「協働花壇」になる事を期待しております。 ・雑草処理を行うという発想は良い。 ・花壇との区別をつけて上記（雑草処理）目的だけに絞るべきではないか。花壇づくりメンバー全員が入っていないことから。 	
<p>(町に関する意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川とのふれあい公園花壇をどのようにしたいのかの計画が、あまり見えないように思います。町として、町の方針と、花壇を世話されている方々の募集を、もっと積極的にPR活動した方が良いと思います。 ・本来、町が整備すべきことを、当団体のボランティアに頼っているとも言える。ふれあい公園の整備は町の主管事業として認識すべき。 ・「川とのふれあい公園」について、知らない町民が多いと思います。時々ご紹介があると良いと思います。 	

- ・「花の町」である事をPRしている寒川町にとって、町が管理する花壇のケアは、必要な活動であると共感しております。一方、個人が楽しむ為に借りている花壇について、「町の管理範囲」と「借りた個人の責任範囲」についても、「協働花壇」として、もう一度明確に見直す必要も有るのかと思います。その成功事例を作る事を、今年度の目的に追加する検討を頂き、寒川町のすべての花壇が「協働花壇」になる事を期待しております。

- ・都市計画課がどこまで参画したかは不明である。

(協働事業に関する意見)

- ・町職員と花壇の会と話し合いが必要と思いました。
- ・町がもっと動いて、魅力ある川とのふれあい公園花壇になっていくことを願います。
- ・提案団体の主旨が、必ずしも会員全員に周知されていないような感じを受ける。
- ・協働で行わないと目標達成が困難だと思われます。
- ・「花の町」である事をPRしている寒川町にとって、町が管理する花壇のケアは、必要な活動であると共感しております。一方、個人が楽しむ為に借りている花壇について、「町の管理範囲」と「借りた個人の責任範囲」についても、「協働花壇」として、もう一度明確に見直す必要も有るのかと思います。その成功事例を作る事を、今年度の目的に追加する検討を頂き、寒川町のすべての花壇が「協働花壇」になる事を期待しております。
- ・雑草処分所が今年度で完成するならば、基本的には協働事業が完了することになるのか？

協働事業名

町の樹木再生による水と緑の自然溢れるさむかわ創生活動
(住みよい町・さむかわにする会)

【実績報告③】

(提案団体に関する意見)

- ・話しを聞いておりますと、杉山さんお1人でなさっている様に思われました。会として全体でかかわって行けたらと思います。
- ・年度末の3月28日にEM活性液400リットル：8万円分を散布したのは、予算消化のためと思われても仕方がない。再発しないことを望みます。寒川町の樹木のいくつかが危機状況にあることを警告してくれたことは、意義があると思います。
- ・町の緑の維持に着実に取り組んでいる様子が伺える。
- ・樹木再生の当初の目標はほぼ達成できたように思われます。生き物である植木は、いろいろな状況下で変化がありますので、対応が大変だと思いますが、いつも美しく保つには、手入れが不可欠だと思います。
- ・植えたら育てる守るは、必須であると共感します。本事業により、その当然に改めて気づかせていただく事が出来ました。専門的な知識を要する本事業は、本来専門業者に依頼する必要のある「仕事」だと思いますが、貴会の様に、専門的な知識を持ち「仕事」ではなく「協働事業」として行われる事は、とても大きな成功事例だと思います。協働の継続を、期待しております。
- ・公共の樹木の管理をすることは重要なことと思う。しかし、公園整備(枯木の後)まで手を加えることは協働ではない。町の緑化計画に基づくものではないか。

(町に関する意見)

- ・町職員に専門的な技術を急には無理ですが、少くらしい知識を入れてほしいです。

- ・この事業を推進すると、町としてEM活性液を薦めることになりかねないので、町のスタンスをよく検討した上で、事業を進めるのが良いと思います。
- ・樹木再生の専門家が少ないので、事業運営の担当者からのアドバイスを受け入れ、町全体の緑化政策に生かして欲しい。
- ・水やりなどについては、ボランティアを募り、近くの住民の方に任せるなど、今後は町民全体で町の植木を守る方向に出来たら良いと思いました。
- ・継続がとても大切な事業だと思います。提案制度の期間中で終わる事の無いよう、協働事業としての継続を期待しております。
- ・公園や樹木の管理を町としてどうするのか。たとえば、中央公園の桜並木を今後どう維持管理していくのか。又、どの地域で「みどりあふれる町」づくりをするかを、町民に見えるようにしてほしい。

(協働事業に関する意見)

- ・以前から思っておりましたが、町が学校や公園などに植樹していますが、後の手入れの事を考慮しなかったのですか。その事が私は腑におちません。
- ・寒川町の樹木再生に関し、町としてもっと積極的にPR活動と、対策を図ったほうが良いと思います。
- ・平成30年度以降も、町として同じ主旨の活動(樹木再生)に挑戦すべき。
- ・町の樹木はいろいろな場所にあるので、協力課も多く、連携などむずかしく思われますが、協働できたように思われます。
- ・すべてが団体主導で動いていて、協力課が後から右往左往しながら振り回されている気がする。樹木の専門家も行政には必要なのではないか。今からでも若手職員を採用するなり養成したらいかが？

協働事業名

【実績報告④】

子ども未来塾～生活困窮家庭の子どもへの「学習支援事業」～
(住みよい町・さむかわにする会)

(提案団体に関する意見)

- ・代表の方はボランティアを良くご存じないのではと思います。そもそもボランティアで時給や交通費まで払わなくては良いのでは。又考えのレベルが高すぎる様です。
- ・生活困窮家庭よりも範囲を少し広げた方が良いと思いますが、趣旨は賛成です。計画人数より少ないとは言え、子ども未来塾の子供達の高校入学の役に立ったのは良かったと思います。
- ・「恵まれない環境下の子どもの学習支援」という主旨から、少し解離した事業運営に進んでいるのが気掛かりである。
- ・初めての企画でしたので、目標設定がむずかしかったとは思いますが、子どもさんの募集の仕方や対象学年についての計画をもう少し協力課と話し合ってからすすめたら良かったと思います。
- ・学校外で、誰もが学べる塾レベルの教育環境を子供たちに提供出来る町。とても素晴らしいなと思い、共感します。一方、その環境があれば学びたいと思う意識の高い子供たちは、既に学んでいるとも思います。また、「生活困窮家庭だから塾に通えていない」→「進学校へ入れない」という方程式は、受け入れたくないというのが個人的な感想です。「金が無いから学べないでは無く、意識が無いから学んでいない。」と私は考えます。なぜ学ぶのか、学んでどうするのか、「学ぶこと」

を様々な角度から子供たちに聞かせてあげる活動が貴会名「子ども未来塾」から感じとった私の第一印象でした。学校の勉強が得意で無かった私には、塾の講師は務まりませんが、「学ぶこと」を説く事ならお手伝い出来るかもしれないとも思っております。「誰もが学べる環境づくり」への活動を応援しております。

・すでに同様な活動を行っている団体があるようだが、なぜ今貧困家庭をなくすために塾を開くのか不明である。

・本当に必要に思うなら、ボランティアでも可能なはず。本来ボランティア活動の一環であり、ボランティア活動を充分理解してほしい。

(町に関する意見)

・教育委員会の方でも、もう少し多くの職員と関わり、町の事業とも考慮に入れて進めていただきたいです。

・町としてもっと積極的にPR活動して、計画の人数に近づけて欲しいと思います。主に定年退職後の60歳台の町民になると思うのですが、講師の確保に、町としてもっと積極的にPR活動すべきだと思います。

・生活困窮家庭と教育の問題は、町で担うべき事と思います。

・「学ぶこと」を説いてあげられる授業、必要ですね。私も、昨年寒川中学校の授業に参加しました。親や先生からだけでなく、地域の経営者や活動団体の皆さんの話や体験談を見聞きし学ぶこと。もっともっと必要なのではないのでしょうか。本題と少しずれてしまいましたが、活動団体の提案内容を受け入れられるか否かではなく、課題をどう解決していくかを、活動団体から提案されたところから共に創り上げ、解決の糸口を見つける事こそが、協働だと思います。

・町の教育レベルを上げる一つとしてとか、貧困家庭をなくすためとされているが、教育委員会は本当にそう思っているのか。教育レベル向上はもっと大きな教育政策であり、学校教育そのものをまず考えなければならないと思う。教育委員会の意見をもっとお聞きしたい。

(協働事業に関する意見)

・もう一度、いちから考えなおして進めていただきたいと思います。企画は大変良いと思いますので。

・有償の講師が多いのは改善すべきで、提案団体と町で話し合っ、良い計画案を作成し、推進して欲しいと思います。

・参加者が少なく、成果(～高校に合格)はあったとしても、当初の目的に合わなければ、協働の意義は薄れてしまう。恵まれない生徒に寄り添う教育が本来の目的だったはずである。

・「学ぶこと」を説いてあげられる授業、必要ですね。私も、昨年寒川中学校の授業に参加しました。親や先生からだけでなく、地域の経営者や活動団体の皆さんの話や体験談を見聞きし学ぶこと。もっともっと必要なのではないのでしょうか。本題と少しずれてしまいましたが、活動団体の提案内容を受け入れられるか否かではなく、課題をどう解決していくかを、活動団体から提案されたところから共に創り上げ、解決の糸口を見つける事こそが、協働だと思います。

・公金を使って学生アルバイトや塾講師に最低賃金を基に県の最低賃金アップにあわせて手当を上げて本当に問題ないのか。来年以降も町予算で助成し続けていくべき事業と思っているのか。

協働事業名 【実績報告⑤】	青色回転灯装着車両による防犯安全パトロール事業 (小谷地域防犯安全パトロール隊)
<p>(提案団体に関する意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大変良い活動と思います。 ・この事業を継続されているのは、良いことだと思います。このまま高齢化により、活動が続けられなくなるのが心配です。 ・従来の活動(夕暮れ、夜間パトロール)に加えて、小谷小学校児童下校時に青パト巡回を勢力的に実施したことは評価できる(少ない費用で)。 ・下校時のパトロール、小谷地域全般のパトロールの実施で、地域の安心が保たれ、犯罪や事故の抑止に繋がっていると思います。目標は達成できたと思われます。 ・素晴らしい活動だと思います。勤務体系が多様化している昨今、平日休みやシフト勤務等も増えてきています。そういった若い世代に参加してもらおう事がとても大切になってくるなど感じます。 ・地域でパトロールに青パトを使う発想はすばらしいが、一町民所有の軽トラで行うことは、継続性から見ても不明である。今後の活動予定もお聞きしたい。 	
<p>(町に関する意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町職員との連携も良くとれているように感じました。 ・町としてもっと積極的にPR活動して、後継者を見つけて欲しいと思います。 ・従来の活動(夕暮れ、夜間パトロール)に加えて、小谷小学校児童下校時に青パト巡回を勢力的に実施したことは評価できる(少ない費用で)。 ・防犯のためにも、このような見回りが他の地区でも実施されるようになると良いと思います。 ・若い世代の募集について、課題解決に向けた支援に期待します。 ・各自治会で自主的にパトロールを行っているが、そことの整合性を整理する必要があります。 	
<p>(協働事業に関する意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も、続けてほしいと思います。 ・提案団体と町で話し合っ、会員を増やすための良い計画案を作成し、推進して欲しいと思います。 ・最終年度をもって、一区切りすることとなろうが、学童の安心、安全を確保する参考事例として生きるのでは。 ・役割分担がよく出来ていますし、相互協力が行われていると思います。 ・町所有の青パト車の共同活用なども考えられないのか。継続的活動を行うなら、町の青パトをボランティア(資格を取ってもらい)の方々に毎日町内を走らせたかどうか。 	